

令和7年度 一般財団法人鳥取県観光事業団事業計画

1 基本方針

令和6年度は、8施設の新たな指定管理期間の初年度であり、青谷かみじち史跡公園については本格的な始動の年であった。各施設が計画した事業の着実な実施に取り組み、利用者数はほとんどの施設で前年を上回る見込みであるが、対目標では全体でわずかに下回る見込みとなった。

令和7年度は、燕趙園の開園30周年、県立美術館開館、こどもの国のレールトレインリニューアル、臨海公園南谷地区再整備などを契機とした取り組み、そして、計画した事業の着実な実施は勿論、培った知識、経験、他者との協力関係を活用した全職員の新たな発想、取り組みによって事務事業をより一層改善、向上させ、変化の激しい時代にも対応した魅力向上と誘客に取り組み集客に繋げていきたい。

インバウンド需要は益々増加しており、受け入れ環境の整備と改善に力を入れて訪日客を取り込んでいくことが重要である。米子ソウル便、米子台北便、米子香港便の国際航空路線の就航に対する営業活動を行うとともに、外国人旅行者にとっての魅力向上にも取り組み、利用者数を確保したい。

職員の処遇改善や働きやすい職場環境の整備、改善に継続して取り組むことで、職員の健康の維持・増進を図り、財団の生産性向上を目指したい。加えて、研修等の充実を図ることで人材育成を進め、観光事業団の組織力、ブランド力の向上を目指す。

2 集客目標（単位：人）

施設名	令和7年度(A)	令和6年度(B)	対比(A)/(B)
こどもの国	188,000	166,000	113%
かにっこ館	245,000	230,000	107%
青谷かみじち	18,000	15,000	120%
響の森	40,000	47,500	84%
臨海公園	234,000	229,000	102%
燕趙園	70,000	70,000	100%
なしっこ館	145,000	130,000	112%
タワー	112,000	110,000	102%
花回廊	315,000	315,000	100%
合計	1,367,000	1,312,500	104%

令和7年度 事務局本部事業計画

1 令和6年度重点項目の成果等

(1) 指定管理者制度への対応

・鳥取県が進めている県有施設の見直しに係る指定管理者への聞き取り、サウンディング調査において当財団の意見を説明した。また、県による処遇改善の措置について、処遇改善計画の作成、関係する質問への対応を行った。引き続き今期後の受注を見据え指定管理者制度を取り巻く環境の変化に適切に対応していく。

(2) 働きやすい職場環境づくりの推進

・改善検討委員会を開催し、職場環境の現状把握と改善に向けた検討を行った。課題は、時間外勤務削減のための事務効率化や体制改善の検討、両立支援の制度を活用しやすくするための取り組みの実施。→2(1)

・就業環境の整備・改善、メンタルヘルス対策等の労務管理関係セミナーの情報を施設に提供し労務管理知識の向上を支援した。

(3) 人材育成制度の充実

・専門業者による個別研修、本部主催の若手職員対象研修及び全体研修等を実施した。また、外部研修情報を施設に提供し参加を推進した。課題は、中長期的な人材育成計画、職員個々に対応した育成の仕組みづくりなど制度運用の改善。→2(2)

2 令和7年度に取り組む重点項目

(1) 働きやすい職場環境づくりの推進

- ・職員の処遇改善
- ・両立支援制度の整備
- ・業務規程の見直し、業務効率化の検討（システム利用の検討、事務手順の整理等）

(2) 人材育成制度の充実

- ・研修計画、育成計画など人材育成制度の運用方法の改善

(3) 人材の確保対策

- ・企業説明会へ参加、インターンシップの活用など職員採用活動の改善

(4) インバウンド集客促進対策

- ・商談会への参加、観光レップとの提携等による新規営業先の開拓
- ・施設の受け入れ環境の整備と特徴を活かした体験等の提供
- ・インバウンド研修参加など、対応職員のレベルアップ

3 令和7年度その他特記事項等

- ・鳥取県の所管課と緊密に連携した、迅速な課題解決
- ・各施設の収支状況、事業実施状況を把握し、事業予算の執行と運営の改善

令和7年度 鳥取砂丘こどもの国事業計画

1 令和6年度重点項目の成果等

(1) 宇宙体験・ロボットプログラミングによる科学技術教室

体験料金の問題等があったため、JAXA 職員の講演会、低年齢児も参加しやすいクイズラリーなど内容を一部変更して春休み期間に宇宙体験イベントを実施予定。

(2) 森林乗馬トレッキングコースの設置およびアニマルセラピーの実施

樹林地に整備したトレッキングコースでの体験を実施し好評だった。アニマルセラピーは福祉施設等と連携して7年度以降実施。

⇒2 (3)

(3) 自然観察ゾーンの設置 (野鳥・昆虫観察、ビオトープ)

候補地での自然観察イベント等を実施し好評だった。整備区域の詳細設定とカブトムシが発生するよう木くず搬入を行った。7年度以降も継続して整備する。

⇒2 (4)

2 令和7年度に取り組む重点項目

(1) D51 クラウドファンディングを活用した修繕事業【新規】

こどもの国入口に設置している D51 の腐食が進み大幅な修繕が必要となっている。費用が高額なため園単独の修繕が困難であること、こどもの国の知名度向上のためクラウドファンディングを利用し修繕を行う。

(2) のりもの広場改修事業【新規】

「のりもの広場」は、近接したふわふわドームのオープンやレールトレインのリニューアルによる新規感が増し、来場者の増加が継続すると見込まれる。劣化した変形自転車コースの更新や案内看板のリニューアルなどを行い、親しみやすく利用しやすいエンターテイメント性も高めた空間へと改良する。

(3) 森林乗馬トレッキングコースの設置およびアニマルセラピーの実施【継続】

6年度に引き続き樹林地での乗馬トレッキング体験の提供のほか、福祉施設の児童を対象としたアニマルセラピー体験の提供等を実施。

(4) 自然観察ゾーンの設置 (いきもの観察)【継続】

自然観察ゾーンの整備を進め、樹木の移植、歩道の整備、水場の増設などを行い、野鳥や昆虫が観察できるようにするほか、整備ゾーンで小鳥の巣箱作り、観察会などのイベントを実施する。

(5) 砂丘地域の連携事業【拡充】

隣接するキャンプ場を活用した更なるイベントの実施や、周辺宿泊施設、砂の美術館、ビジターセンター等と連携し、小学校の宿泊体験学習での訪問や一般客の周遊を促進する。また、繁忙時の駐車場相互活用、マルコラでの周辺飲食店のブース設営など広範囲に周辺地域との連携体制を構築する。

3 令和7年度の収入確保策

(1) ポケモンを活用した魅力発信

サンド公園、リニューアルするレールトレイン、ポケふたなどを活用して幅広い年代に愛されるポケモン (サンド) を活用した情報発信により訴求効果を高め集客増を目指す。

(2) SNS を活用した広報拡充

郵送による情報誌発送にかわる LINE 会員制度を導入、また来園者の利用率が高いインスタグラムを主とした SNS 広報の充実により認知度向上、集客増を目指す

4 令和7年度その他特記事項等

(1) 園内老朽箇所の修繕

老朽化した遊具、設備が多いため、鳥取県と連携し計画的な修繕を実施する。

令和7年度 とっとり賀露かにっこ館事業計画

1 令和6年度重点項目の成果等

(1) 水槽新設事業（クラウドファンディング）【新規】

R6年にクラウドファンディングを活用して体験水槽を新設したが、夏の水温異常の他、水槽の給排水等の処理が甘く生物に負担をかけたこともあり予定通りの体験水槽が稼働できなかった。（参加者前年比88%）（2-（1）へ）

(2) ナイトアクアリウム【新規】

夜間開館の結果は夏の2日間は443人、冬の2日間は56人となった（入館者目標50人/日）。夏はまずまずの賑わいを見せたが、冬は暗くなるのも早く寂しい館内となった。

またInstagramフォトコンテストは夏59投稿、冬は31投稿となった（目標100投稿/回）。（2-（2）へ）

(3) 魚食普及事業【新規】

試食まつり、大喜利コンテストをそれぞれ2回ずつ計画していたが、それぞれ1度しか開催できなかった。（2-（3）へ）

2 令和7年度に取り組む重点項目

(1) 水槽新設事業（クラウドファンディング）【継続】

水流の問題を関係機関にも相談し、水流が適切になるように処理をしており、年間2,600人の参加者を目指す。（R6年度比150%）

(2) ナイトアクアリウム【継続】

○夜間開館は夏に3～4日間実施、冬は0～1日間の実施とする。

○夏と冬に実施するフォトコンテストは各施設にSNSでの協力依頼を行いネット上での広報強化を行う。

(3) 魚食普及事業【継続】

○四季の県魚料理教室：かろいち等と協働で開催、若年層の参加者も募集する。

○かにっこ試食まつり：鳥取県漁協と協働で開催、観光客(大人)の参加者を募る。

○四季の県魚大喜利コンテスト：Xにてコンテストを実施。若年層以上の年齢のファン獲得を目指す。

3 令和7年度の収入確保策

(1) タッチングとえさやりイベント増収（2-（1）水槽新設により）

○新設した水槽の稼働率アップをはかり増収を目指す。

(2) GWミニ縁日

○芝生の広場で金魚すくいなどのミニ縁日を開催。

4 令和7年度その他特記事項等

(1) 学校向け、生き物タッチング体験

○遠足・校外学習の利用を促進するため無料で実施する。

○予約制で春・夏・冬の長期休暇を除く平日の午前中に実施

(1) 展示生物フォトコン

○展示生物のフォトコンを開催。

令和7年度 青谷かみじち史跡公園事業計画

1 令和6年度重点項目の成果等

(1) とっとり弥生の王国発展に寄与

鳥取県及びむきばんだ史跡公園と連携して、イベント出展を中心に連携を行った。
むきばんだ史跡公園と「定例協議」や「共同看板の設置」など2園連携を強化した。

(2) 史跡を活かした地域振興

教育旅行誘致、大手旅行会社テーマ型ツアーの設定・催行の実績を残せた。また、公民館・老人クラブなど一般団体の見学が増加し、青谷和紙工房への立ち寄りが組まれるなど地域振興の一助となった。

(3) 情報発信事業

各種 SNS の運用と google ビジネスプロフィールの本格運用スタート。クチコミ評価 4.2 を獲得(クチコミ数 58) 投稿者全件への返信を実施。Instaglam、LINE、YOUTUBE への取り組みが不足しており、次年度に課題を残す。

(4) 活用推進事業

屋内体験メニューは、類似施設と比較しても一定のめどがついた。屋外での史跡公園の環境を生かしたメニュー開発が課題。

(5) 維持管理業務の一部内製化

日常清掃を中心に、屋内での維持管理業務は内製化完了。空気環境測定や IPM 管理への取り組みを加速させる必要がある。

2 令和7年度に取り組む重点項目

(1) とっとり弥生の王国発展に寄与 **継続発展**

次年度からの鳥取県・むき・青谷両園のプロモーション連絡会議設置を提案し、実現にむけて準備をすすめている。

(2) 史跡を生かした地域振興 **継続発展**

地元の商工関係者と連携して史跡公園に「あおいち」を誘致。また、秋に史跡公園を中心に青谷町全域を巻き込む「ロゲイニング」イベントを計画。

(3) 情報発信事業の強化 **継続強化**

未活用の SNS を中心に、運用を拡大。

(4) 活用推進事業 **継続強化**

県の文化財職員やボランティアの方々と屋外型の弥生体験企画や「弥生のたんぼ」「弥生のはたけ」への取り組みを強化する。

(5) 維持管理業務の深化 **新規**

IPM 管理に関し、マニュアル作成と運用、データ収集などについて、県立博物館の例を参考に、一部指導をうけながら取り組む。空気環境測定結果をフィルター管理と連動させるなどノウハウの蓄積に取り組む。

3 令和7年度の収入確保策

(1) 収入確保

ガチャガチャの導入やレジン等の古代グッズ新規販売、園内外への出店強化

(2) 来園者確保

県立美術館へ見学に行く小学校に対して「史跡公園」への見学誘致に取りくむ。

4 令和7年度その他特記事項等

特になし

令和7年度 氷ノ山自然ふれあい館 事業計画

1 令和6年度重点項目の成果等

(1) 春(GW)、夏、秋の特別企画等の開催→2(1)

- ・春(GW):「ネイチャーキッズフェスティバル」
入館者数、イベント参加者数とも減(参加者数前年比66%)。新鮮味が欠けてきたか。
- ・夏:「棚田展」
観覧者数が、前年度企画展「お天気展覧会」対比で150%と盛況。地元、県博等の協力によりわら細工等の人文的な展示も初めて実施。地元の価値を披露できた。
- ・秋:「ネイチャージャーナル展」
世界中から募った作品の展示で、日本で初めての開催。会期終了後は作品データをWeb公開にて発信。その視聴数も含めて前年度企画展「ヤマネ展」並みの観覧者数となった。

(2) 「大人の趣味シリーズ」開催

内容によって参加者数にばらつきがあった。大人だけでは参加しにくいとの声もあり、今後はテーマにより子どもも参加できるイベントと合わせての開催を検討する。

(3) 地域と連携した営業・広報活動

氷太くんや民宿と当館を紹介する、地元大学サークル向けのチラシを作成し配布した。

2 令和7年度に取り組む重点項目

(1) 春(GW)、夏、秋の特別企画等の開催→1(1)

- ・春(GW):「ネイチャーキッズフェスティバル」【新規】
木の玉ボールプール等「移動木育広場」の設置や木の創作体験を実施する。
- ・夏:「DANBOL展(仮称)」【新規】
写真家井上嘉和氏によるダンボールお面の作品や写真等を、氷ノ山の風景写真を背景にして展示する。またお面づくりのワークショップを開催する。
- ・秋:「くますけイラスト展(仮称)」【新規】
自然ガイドくますけ氏による、身近な自然の豆知識を面白くわかりやすく描いたイラストを展示する。またくますけ氏による自然体験プログラムを実施する。

(2) 施設の充実や展示改修への取り組み【新規】

- ・館内のWiFi環境整備やシアターでの新規上映作品の制作に向けた企画に取り組む。
- ・駐車場利用者や登山者等へ施設の周知や立ち寄りを促す看板等を設置する。

(3) 営業・広報活動

- ・小中学校の宿泊研修への氷太くんと連携した営業や日帰り校外学習、幼稚園・保育園の園外行事に向けた営業に取り組む。

3 令和7年度の収入確保策

(1) GW「移動木育広場(有料)」の集客及び定例イベントの定員増

- ・木のおもちゃ等魅力あるイベントの開催により、有料利用者増を図る。
- ・申し込みが多い定例イベントの受け入れ数(定員)を増やす。

(2) イベント参加料の値上げ

- ・定例イベントの参加料及びスノーシュー等冬の有料レンタル用具を約20%値上げする。

4 令和7年度その他特記事項等

(1) 氷ノ山の環境保全への取り組み

- ・希少植物のコキンバイやマイヅルテンナンショウを保護するための取り組み等。

令和7年度 東郷湖羽合臨海公園事業計画

2 令和6年度重点項目の成果等

(1) トレーニングルーム改修

内装の改善や器具の更新を行い設備の充実を図るとともに料金の値上げも実施

利用者は前年比25%増、収入38%増。常連客の増、高齢者・学生の増

(2) ウォーキングの拡充

芝桜と牡丹を楽しむ「湯と花ウォーク」、蓮と睡蓮を鑑賞する「早朝蓮ウォーク」を燕趙園と共同で開催。犬と一緒に歩く「わんわんウォーキング」も初実施し好評であった。

(3) アクティビティの提供 →2(2)

カヌー・サップの体験アクティビティの提供を開始。東郷池でのアクティビティの認知度の向上、季節感等、プラスアルファの要素を加えたメニュー提供が今後の課題

(4) 憩いの多目的スペース整備

県主催の南谷地区再整備検討委員会が実施され、整備予定の体力測定広場は夢広場駐車場の拡張の一部となることが決定。同地区内の他の場所の再整備を予定

2 令和7年度に取り組む重点項目

(1) シニア向け教室の充実【新規】

南谷地区の再整備にともない体力測定広場が廃止となるため、シニアの体力づくりに関わる機能の維持が求められる。現在の教室に追加して、シニア向けの運動教室を開催する。

(2) アクティビティの提供【継続】

東郷池でのカヌー・サップの体験メニューの提供を継続して実施。ネットでの露出を強化し、県外からの集客を図る。親子カヌー体験教室、サンセットカヌー体験等のイベント要素を加えてすそ野の拡大を目指す。

(3) 藤津地区の植栽整備【新規】

地盤沈下による公園の冠水により、あやめ池公園内の花しょうぶをはじめ植栽に悪影響が出ている。冠水自体は困難なため、植栽面での見どころを維持するため整備を行う。

3 令和7年度の収入増加策

(1) 使用料収入の増加策

トレーニングルームの利用者増：SNS等で露出を強化。新規利用者の開拓を図る。

夢広場の使用料、物販・入場料徴収時の非営利料金を設定し幅広い利用を誘致する。

(2) 参加料収入の増 →2-(1)(2)

アクティビティ体験利用者の増、教室の充実による増

4 令和7年度その他特記事項等

(1) 南谷地区再整備

令和6年度整備：キリン公園・健康遊具の設置、東屋の増設

令和7年度：観察水槽・実験水路を廃止→親水広場、EV充電、Ippo側駐車場の拡張

(2) スポーツセンターの雨漏り修繕工事 5、6月に利用制限かかる予定

(3) ハワイ夢広場一般開放の実施 R6夏に試験的に実施→定期的な実施を検討

(4) 日本海エリア(宇野・長瀬地区)の管理について

令和7年度 中国庭園 燕趙園 事業計画

1 令和6年度重点項目の成果等

(1) 地域連携によるウォーキング大会等の推進→2(5)

地域のウォーキング大会に加え、花を愛でるウォーキング大会も開催

(2) 入園無料化の試行→2(1)

- ・2期に分け4か月間実施、期間中入園者は21,169人(20,100人想定)
- ・入園者数に比べて売店売上は伸びず、1月には湯梨浜町商工会フェアを実施

(3) 公園管理への多様な主体の参画促進

- ・アダプトプログラム花壇を新設(今年度中)

(4) 四季を通じた見所及び木陰のある空間の創出→2(4)

- ・2年をかけ「沿線沿いの宿根草花壇」を新設

(5) 夏期イベント開催 →2(2)

- ・新日本海新聞社との共催で「ふれあい昆虫展」入園者14,766人(対前年1000人増)
- ・広域へのチラシ配布(玉造温泉等宿泊地)、ユーチューブ広告、TVスポット

2 令和7年度に取り組む重点項目

(1) 入園無料化の試行

- ・令和6年度と同一日程にて実施。売店売上増増に向け取り組み

(2) 夏期イベント開催

- ・新日本海新聞社との共催で「ふれあいモフモフ小動物」(仮称、未定)
- ・SNS広報をはじめ広域への情報拡散

(3) 30周年記念事業【新規】

- ・節目となる催事は、30周年記念事業として燕趙園らしい催し

(4) 四季を通じた見所及び木陰のある空間の創出

- ・継続して見どころの創出、町民への周知

(5) 地域連携によるウォーキング大会の推進

- ・継続して地域連携によるウォーキング大会等の推進

3 令和7年度の収入確保策

(1) 漢服レンタルの推進

- ・着数増による種類強化、宣材写真撮影によるSNS等露出増による利用増

(2) 入園無料化試行の対策

- ・中国雑技ショーの有料化(300円)・屋台(夏期・冬期)のメニューの見直し

(3) 道の駅の販売強化

- ・地元商工会とコラボしたここだけの特産品販売、道の駅飲食の新規メニュー開発

4 令和7年度その他特記事項等

(1) 道の駅飲食施設

- ・4月オープン予定
- コワーキングスペースを備え、モーニング・カフェ対応、団体対応

令和7年度 鳥取二十世紀梨記念館 事業計画

1 令和6年度重点項目の成果等

(1) 梨に関するアート展

鳥取県二十世紀梨導入120周年企画「二十世紀梨歴史ロマン譚」(7/20～9/29)

イラスト展示、顔出しパネルによる撮影スポット、オリジナルグッズ販売

120周年記念梨箱の作成による情報発信・販売強化

年々入館者数が増加しており夏の集客イベントとして定着

(R6: 49,571人←R5: 33,463人←R4: 29,074人←R3: 16,597人)

4年連続で梨に関連した内容での開催だが、今後の題材選びに苦慮

(2) 室内イルミネーション

冬季集客対策として、寒くなく昼でも見ることができるイルミネーションの実施

階段周りのイルミにより、写真スポット及び館内が明るくなったと好評

撮影スポットの増設、なしっこ館らしさのあるグリーン色の導入を検討

(3) 梨の副読本の作成

地域のことを学ぶ学習の対象学年をターゲットとした冊子(案)を作成

学校への配布はR7年度に実施予定

2 令和7年度に取り組む重点項目

(1) 梨に関するアート展【継続】

「倉吉」をテーマに白壁土蔵群や県立美術館など周辺観光地を取り込んだ内容で計画

展示に絡めたイベント等+α要素を効果的に盛り込む

(2) 鳥取県立美術館連携事業【新規】

県や市が実施する連携事業への参画に加え、独自の連携事業

①共同営業 ②共同広報 ③相互誘客 により、倉吉地区の賑わい創出に貢献するとともに入館者の増を図る

(3) 梨の補助読本の作成【拡充】

梨づくりの楽しさ、梨への関心度を高め、梨産地鳥取の発展に寄与

例年来館される小学校に試験的に配布し意見徴収しながら改良

中部の小学校に配布を計画(最終的には全県に拡大)

3 令和7年度の収入確保策

(1) 梨販売による収入の確保

梨生産量の減少、酷暑・カメムシ被害により梨の十分な確保が難しい状況

計画どおりの梨確保のため、新規を含め複数の入荷ルート(選果場・個人生産者)準備

(2) 売店オリジナル商品

アート展関連グッズ、ナッシー商品の追加

4 令和7年度その他特記事項等

(1) ジョイント栽培コンクールの開催

(鳥取大学・鳥取県・全農鳥取・梨記念館)

(2) 梨づくり大会の開催

(主催: 鳥取県・全農鳥取・梨記念館)

(3) 梨づくり大学の開催

(鳥取大学公開講座との共催含む全12回)

令和7年度 夢みなとタワー事業計画

1 令和6年度重点項目の成果等

(1) 新規免税店「DIA PLUS」の開業

株式会社 ALEXANDER&SUN 社による新規の運営をスムーズに取り付けることができ、ソウル便のツアー客を立ち寄りさせることに成功している。買い物の時間をしっかり取らせたいという免税店側の意向から、展望室への入館者増加にはつながっていないが、県西部へのインバウンドの誘客に役立っている。

(2) ソフトクリームショップの開業（境港観光協会による運営）

観光協会による売店運営が始まるが、長く続けることができるよう、タワー売店との商品の調整や広報、連携キャンペーンなどの協力を行う。

(3) 夢みなと賑わいプロジェクトの制度設計と運用

新規の共催イベントが増えてリピート率も高く、貸館の空き日程を押さえるのが困難になってきているほどで、今後も同様の状況が続けば抽選なども検討が必要。事業団他施設や、みなとターミナル等への紹介も検討したい。

2 令和7年度に取り組む重点項目

(1) 春・夏の大型イベントの実施

春休み「ダンボール遊園地（自主開催）」、夏休み「魔法の美術館（日本海新聞と共催）」の開催が決定している。計画時点で春イベントは前年の昆虫展以上を見込むが、夏休みは前年の水族館を下回る規模での開催となる。春イベントで積極的に集客を行い、来館者を確保する。

(2) 夢みなとシアターの活用促進「SAMANSA シアター」の実施【新規】

3F映像シアターは、設備は立派だがソフトの魅力が不足しており、イベント時以外は利用者がほとんどいない状態であったが、短編映画の配信会社 SAMANSA との業務提携を行い短編映画の上映権を得ることで、観光客や家族連れが気軽に鑑賞できる映像シアターとしての活用を図る。R7年3月中に協定の締結式を行い、春休みに間に合うように上映開始予定。

3 令和7年度の収入確保策

※夢みなとタワーは、物価や人件費の高騰を受けた指定管理料の増額や、免税店テナント賃料、ソフトクリーム売店賃料で年間収入予算の82%は固定収入で安定する。これまでの取り組みによる収益確保は継続して行うが、積極的な修繕や備品更新、大型イベントなどにより、公共施設としての役割を最大限に発揮しながら、適正利益が出るように収支差をコントロールしていく。

4 令和7年度その他特記事項等

(1) さかなセンター&美なと亭破綻の影響への対策

地権者や管財人等に確認を取りながら、景観や安全性が悪化した場合などはタワー側で除草等の対策を実施。利用者の利便性対策としては、なかうら、直売センターなどと連携を行っていく。

(2) 境港市の運営する市内周遊バス「はまるーぷバス」がデマンドバス「みなとーる」に変更となることによる影響への対策

デマンドバスは現在テスト運行中だが、タワーから予約をしても1～2時間待ちとなる状況。本格運行開始後には台数が増えるので待ち時間が解消されることを期待するが、利便性が悪くなるようであれば、地元タクシー会社との連携や最寄り駅と施設間の無償送迎なども視野に入れて検討する。

令和7年度 とっとり花回廊事業計画

1 令和6年度重点項目の成果等

(1) 園の魅力アップ

- ・年間テーマを「Enjoy ～咲き誇る花たちと一緒に楽しもう！～」に設定
- ・通年で花を見るほかに食べたり遊んだり体全身で楽しめる園づくりを実施
- ・開園25周年記念式典を開催し、新たに設置した子供の遊び場の名称を発表
- ・開園25周年記念した大感謝祭で多肉植物や資材の販売や参加型イベントを開催
- ・日本ハンギングバスケット協会の協力で開園25周年特別展示を実施
- ・花回廊開催の教室講師が作出した花回廊オリジナルクレマチスを発表
- ・県内外の団体の協力を得て「きのこワンダーランド」を初開催
- ・人気の多肉植物販売会と花と緑のフェア（造園協会主催）を同時開催
- ・地元テレビ局と連携した山陰最大級の花火大会を開催
- ・鳥取県とポケモン社と連携した県産苗を活用したキャラクターの花絵展示を実施
- ・職員が手掛けたイルミネーションを米子高専のAI技術などの協力を得て開催
- ・累計入園者1,000万人を達成し、記念品の配布や売店での割引を実施
- ・西館と北館に新たな飲食店舗が開店し、季節やイベントにあったメニューを提供

(2) 花き園芸の振興

- ・花壇苗生産者の栽培技術向上のため県・全農・JAと共に巡回指導を実施
- ・園内で栽培・展示した県産苗や地元生産者仕入れ苗を園芸ショップで販売

(3) 集客促進

- ・SNS投稿による積極的な情報発信に加えインフルエンサーを活用
- ・友の会で開園25周年記念キャンペーンやカートツアーを実施
- ・韓国や台湾での現地商談会への参加、旅行会社セールスを実施

(4) 販売・飲食事業の促進

- ・売店で25周年を記念したオリジナル商品の開発や専用の特設コーナーを設置
- ・レストランで春イベントの特別メニューや1,000万人達成記念ランチを開発
- ・地元団体と協力したPRイベントやライブコンサート会場で牛骨ラーメンを提供

(5) 交流の推進

- ・南部町の誕生祝事業への協力や二十歳の集いの会場として花回廊を活用
- ・米子高専の学生制作ベンチの寄贈や学生によるAIイルミネーションの制作
- ・三園（牧野植物園・あわじグリーン館）交流の活動を再開

(6) 人材育成

- ・技術向上のため広島市植物公園など他園の植栽管理や企画展示の視察を実施

2 令和7年度に取り組む重点項目

(1) 園の魅力アップ

① 植栽関係

- ・サクラやバラ、ユリ等のボリュームアップ及び品種数の充実 **拡充**
- ・タブの木の丘を「仮称：希望の丘」として再整備 **新規**
- ・花の谷「古代ゾーン」整備 **継続**
- ・フラワードーム内植物の整備 **拡充**
- ・視覚障がい者にも桜を感じられる芳香性のサクラ‘春めき’を植栽 **新規**

② 新品種の育成等

- ・鳥取県園芸試験場との協働、地元育種家との連携 **拡充**
- ・種苗関連メーカーの最新品種や国内外の有望品種の園内展示や技術研修を実施 **継続**

③ 体験メニュー等

- ・生き物観察会等の定期観察会や株分け講習会など体験教室 **継続**
- ・学校向けの園内を活用した体験メニュー **新規**
- ・有料の体験型ツアー **継続**

④ イベント関係

- ・地域の自治体や企業と連携した話題性のあるイベントを実施 **拡充**
- ・AI活用や没入型映像体験など米子高専と協力したイルミネーションを開催 **拡充**
- ・地元作家による来園者参加型の野外アート展を開催 **新規**
- ・駐車場や屋外ステージを活用した外部イベントの利用を促進 **拡充**

(2) 花き園芸の振興

① 花壇苗供給体制の見直し

- ・花壇苗に係る新たな供給システムの構築に向けた検討・協議 **継続**

- ② 生産農家の育成
 - ・県産花壇苗 95%以上納品の確保 **継続**
 - ・県、JAなど関係機関と連携して巡回指導 **継続**
 - ・園芸ショップでの県産苗の販売や県産切り花の企画展示を実施 **拡充**
- ③ 次世代へ向けた取組
 - ・難防除病害の原因特定と対策を鳥取大学に委託し今後の栽培管理へ活用 **拡充**
- (3) 集客促進
 - ① 基本的な取り組み、連携等
 - ・皆生温泉旅館組合と地域における誘客の連携 **継続**
 - ② 情報発信
 - ・広報の効果を測定・分析して広報内容・手法・時期などを改善 **継続**
 - ・Google 検索の上位表示やAIを活用した口コミ対策サービスの利用を開始 **新規**
 - ・広報担当だけでなく園芸、売店など現場スタッフからも SNS による情報発信 **継続**
 - ・友の会会報誌のデジタル化より有益な情報をタイムリーに発信 **新規**
 - ③ サービス向上
 - ・オンラインチケットを活用した魅力的な商品設定 **新規**
 - ・夏休み小中学生の無料化の実施 **継続**
 - ④ 友の会
 - ・会員証のデジタル化の導入と会報誌のWEB化 **新規**
 - ・入会キャンペーンの実施 **継続**
- (4) 販売・飲食事業の促進
 - ① 販売関係全般
 - ・顧客の動向を観察・研究し、速やかな売れ筋商品を提供 **継続**
 - ・園外での販売拡大 **拡充**
 - ② 土産・特産売店
 - ・地元の各種メーカーや事業者との共同開発により商品を充実 **拡充**
 - ・鳥取県×ポケモン“サンド”のコラボグッズ売場の展開 **新規**
 - ③ 園芸ショップ
 - ・園芸ショップのリニューアル **新規**
 - ・地元生産者、地元園芸店との連携 **拡充**
 - ④ レストラン
 - ・園内イベントに合わせた一体感のあるメニュー提供 **拡充**
 - ・学校関係との共同メニューの開発 **新規**
 - ⑤ 屋台
 - ・利用者の声を取り入れたメニューやイベントに関連したメニュー開発 **新規**
 - ・外部へのPRを兼ねた出店 **拡充**
- (5) 交流の推進
 - ① 教育関係
 - ・小学生を対象とした花育講座「花はなクラブ」を運営 **継続**
 - ・米子高専との連携推進（ベンチ寄贈、イルミネーション共同研究等） **拡充**
 - ② 各種団体との交流
 - ・キューケンホフ公園、三園交流（牧野、あわじ）、台湾肥料等 **継続**
- (6) 人材育成
 - ① 研修等
 - ・外部・内部研修、資格取得 **継続**
 - ・他植物園や先進観光地の視察 **拡充**
 - ② その他
 - ・園芸部門の専門職化 **継続**

3 令和7年度の収入確保策

- (1) 入園者数と売上の確保
 - ・2（1）園の魅力アップを前提に2（3）集客促進対策及び2（4）販売・飲食事業の促進を実行
- (2) フラワートレイン乗車料金等の改定
 - ・エレクトリックカーの新規導入や運行コースの魅力アップを図ることでフラワートレインの乗車料金、友の会のデジタル化に合わせた年会費の改定を実施
- (3) アウトリーチ活動・駐車場イベントの推進
 - ・体験メニューの出張や園外イベント出店、駐車場イベントの誘致を実施

4 令和7年度その他特記事項等

引き続き鳥取県造園建設業協会とのコンソーシアムによる管理運営を継続し、園内樹木の適正な管理や工事等自主施工能力の向上、観光事業団職員のスキルアップに加え、園の魅力アップと地域活性化の推進を図る。